

～下記の研究を行います～

『ICU 入室患者における脊柱起立筋横断面積と ICU-acquired weakness の関連性』

【研究の主宰機関】 国立病院機構 大阪医療センター

【研究代表者】 上西 悠仁

【研究の目的】 ICU 入室時の脊柱起立筋横断面積(以下 ESMcsa)と ICU 獲得性筋力低下(以下 ICU-AW)発症の関連性、および四肢骨格筋力や ADL 能力への影響を明らかにすることで、ICU-AW 発症の予測因子の可能性を検討することを目的とします。

【研究の期間】 研究許可日～2025 年 11 月 30 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

令和 6 年 11 月～令和 7 年 11 月の期間に、当院救命救急センターICU、ICU に入室した 20 歳以上の方

●利用する試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から以下の情報を収集します。

- ・患者さんの基本情報（年齢、性別、疾患名、ICU 入室期間など）
- ・患者さんの検査所見（CT、筋肉量、四肢骨格筋力など）
- ・患者さんの基本動作能力、日常生活動作能力 等

【情報等収集開始日】 2024 年 12 月 9 日

●外部への情報等の提供

畿央大学大学院への情報等の提供は、患者さんを特定する情報（氏名等）は記載せず登録番号に置きかえ、電子媒体等で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。患者さんと登録番号を結びつける表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

【情報等の管理責任者の氏名又は名称】

国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志
畿央大学大学院

●研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

国立病院機構 大阪医療センター 上西 悠仁
畿央大学大学院 准教授 宮本 直美

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの機関の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。が、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

研究責任者・代表者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

リハビリテーション科 理学療法士 上西 悠仁